

速硬性薄塗り用下地補修材 リフロア-F

コンクリート・モルタル、合板下地の不陸調整や床改装時の下地補修材として適しています。水で混練りするだけで使用でき、約30分で硬化する薄塗り用ポリマーセメントです。



特殊セメント

粉末形

容量	包装形態	梱包単位
4kg	ビニル袋	5

用途

適用箇所	屋内の床面
適用下地	・コンクリート、モルタルなどの湿式下地 ・合板下地
適応補修厚	5mm以下

標準配合比及び使用量

標準配合比 (重量)	補修厚 1mm		補修厚 2mm	
	リフロア-F	水	リフロア-F	水
	100	30	100	25
標準使用量	1.8~2.0kg / m ² 0.45~0.50m ² / kg		3.6~4.0kg / m ² 0.23~0.25m ² / kg	

性質

外 観	灰色 粉末状
主 成 分	特殊セメント
硬 化 時 間 (塗布厚:1mmの場合)	約30分/23℃

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

使用方法

【下地の処理】

1. 下地面のゴミ、ほこり、凹凸、油分、錆、レイトンス及びもろい部分を取り除きます。
2. 下地が乾燥している場合は水湿しを行います。
チェック：・合板下地の場合には水湿しをしないで下さい。
・合板下地に施工する場合、下地の挙動が極力少ない条件下として下さい。
・合板のジョイント部と床材のジョイント部が同一とにならないよう注意して下さい。

【リフロア-Fの混ぜ合わせ】

1. 標準配合に従ってリフロア-Fに水を加え、十分に混練します。
チェック：・1度に練り混ぜる量は約15分以内に使い切れる量にして下さい。
・一度混ぜ合わせ硬化が始まったリフロア-Fに、再度水を加え再攪拌して使用しないで下さい。
・一度混ぜ合わせた物は保管できません。

【リフロア-Fの塗布】

1. 下地の補修箇所にしごき塗りをした後、地べらやプラスチック板などを用いて平滑になるように塗布します。

【養生】

1. 塗布後、少なくとも30分(23℃)は外力が加わらないように養生します。
チェック：施工環境や施工条件により硬化時間が異なりますので、予め硬化時間を確認の上、養生を行って下さい。

取り扱い上の注意事項

リフロア-Fを取り扱う時は、以下の項目を守って下さい。

- 指定用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- 一度混ぜ合わせたリフロア-Fは保管できません。
- 目・鼻・皮に炎症を起こす恐れがあります。取り扱いには充分注意して下さい。
- 品種の異なる補修材と併用・混合しないで下さい。また、保水剤・防凍剤・エマルジョン混和剤なども添加しないで下さい。
- 5~35℃の環境で使用・保管して下さい(硬化までの凍結に注意して下さい)。保管温度が著しく異なると、練り置き時間などが大きく異なったり、物性が低下する恐れがあります。
- 湿気を避け、水濡れがないようにして、乾燥した場所に保管して下さい。
- 使用時は必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 使い残したリフロア-Fは密封した上で場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイをして下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時には、直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落して下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

株式会社 タイルメント 本社営業本部/〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL:052-412-7321 FAX:052-412-8900					
東京支店 TEL:03-3616-2201 FAX:03-3616-3711	名古屋支店 TEL:052-411-3511 FAX:052-411-3516	仙台営業所 TEL:022-262-5751 FAX:022-262-5753	広島営業所 TEL:082-231-1200 FAX:082-231-7666	北陸出張所 TEL:076-237-7480 FAX:076-237-6478	大垣工場 TEL:0584-89-2225 FAX:0584-89-2090
大阪支店 TEL:06-6386-6141 FAX:06-6386-6146	札幌営業所 TEL:011-717-5216 FAX:011-717-5217	横浜営業所 TEL:045-242-7441 FAX:045-242-8136	福岡営業所 TEL:092-451-6503 FAX:092-481-0621		技術開発センター FAX:0584-89-8111 TEL:0584-89-8111